

初めてのピアノレッスン

ピアノを弾くために 1

ピアノの練習のときには必ず・・・

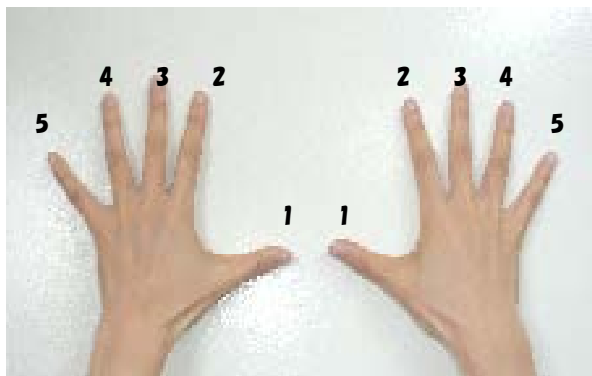
- **練習する時に、鉛筆を一本用意しましょう**
(注意されたことや、気のついたことがすぐメモできます)
- **楽譜に指番号を記入しましょう**
(ミスタッチを防ぎ、練習の能率を上げ、暗譜にも役立ちます。)
- **楽譜に和音の種類 (♡・◇・☆) を記入しましょう**
(両手で弾く場合、和音の種類が確認でき、手の形を整えミスタッチを防ぎます。)
- **足で拍子をとりましょう**
(後で、長い音符や難しいリズムが出てきた時、正確に弾く手助けになります。)
- **できるだけ、鍵盤を見ないで弾きましょう!**
(保育の現場では、子供の顔を見ながら指導することが多いので慣れましょう。)

ピアノを弾くために 1

1. ピアノを弾く手の形と指番号 …… 1
2. ピアノ鍵盤のドの位置 …… 2
3. 楽譜の読み方・覚え方 …… 4
4. 指のウォーミングアップ …… 6
5. 音階を弾いてみよう ハ長調 …… 7
6. 色々な調の音階を弾いてみよう …… 8
調子記号・臨時記号 …… 10
7. 音符の長さ …… 11
リズム遊び …… 14
8. 和音の形をマークで覚えよう …… 16
左手で和音を弾く前に …… 18
9. よく使う和音 …… 19
10. 半音・全音について …… 20
11. 変化記号について …… 21
12. 右手で半音階を弾いてみよう …… 22
13. 拍子記号について …… 23
14. 実際に弾いてみよう …… 24
むすんでひらいて …… 25
バイエル課題(47. 50. 65) …… 27

① ピアノを弾く手の形と指番号

指番号



良い例



良くない例



ピアノを弾く時の姿勢

肘は鍵盤に手を置いた時に
床と平行になるように！

良い姿勢



悪い姿勢



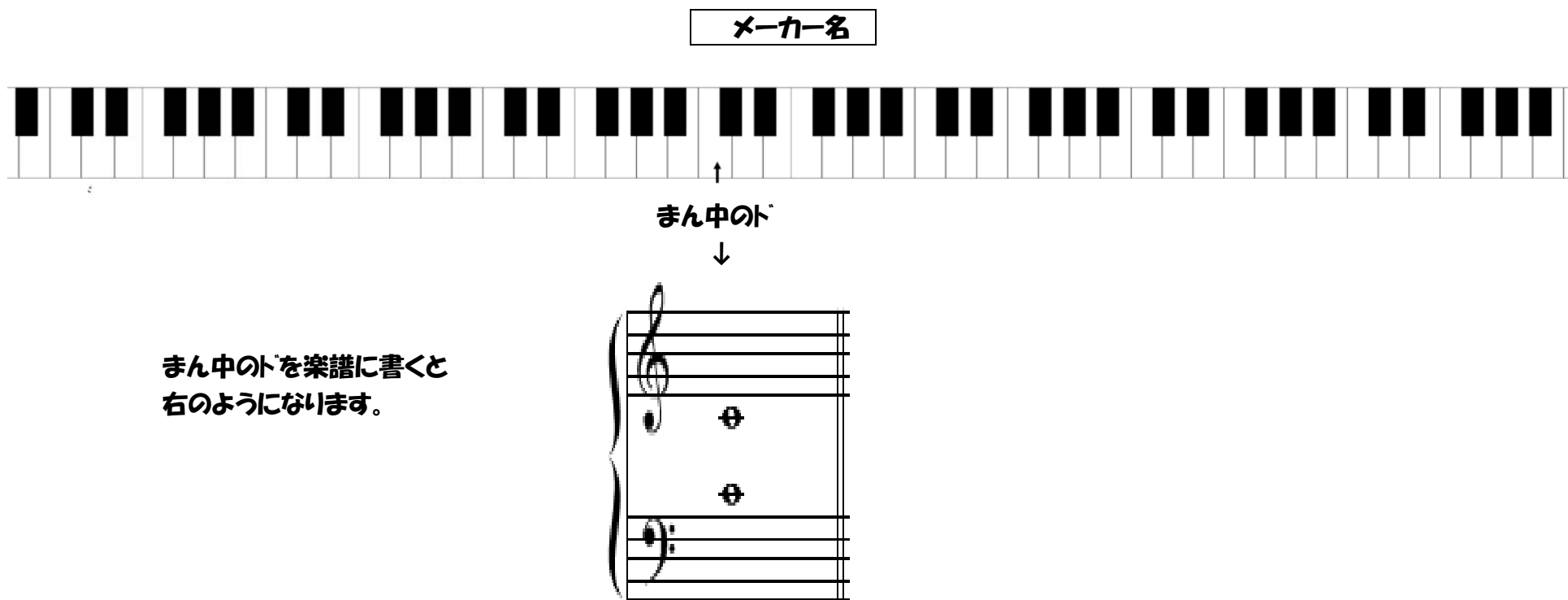
② ピアノ鍵盤とドの位置

まん中のドは…

黒鍵の2つと3つのかたまりを1セットとすると全部で7セットあります。左右どちらから数えても

4つ目のかたまりがまん中です。その場所にあるドが、まん中のドです。

または、メーカー名の左側に一番近いのが、まん中のドです。

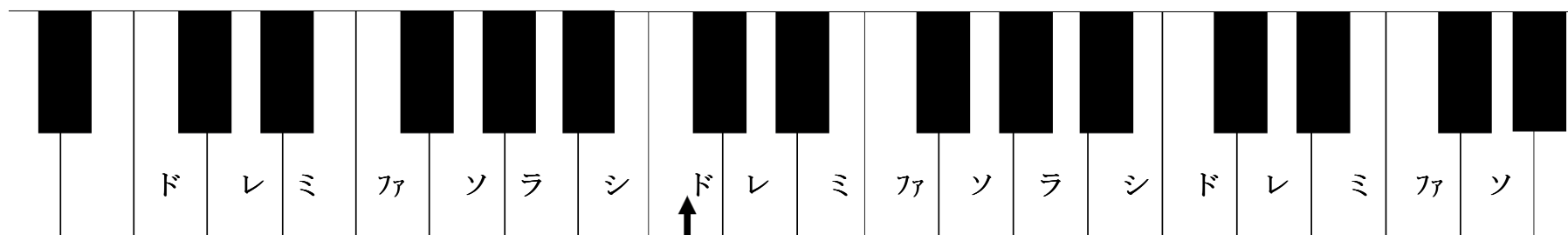


メーカー名

まん中のド

まん中のドを楽譜に書くと右のようになります。

ピアノ/鍵盤と楽譜の位置



まん中のド



ピアノ/鍵盤は右へ行くほど音が高くなり、左へ行けば低くなります。

③ 楽譜の読み方、覚え方

※最終的には教えなくても読めるようにしなければなりません、楽譜を読むための導入として覚えて下さい。

 ト音記号の楽譜（高音部譜表） … 語呂合わせで覚えよう！

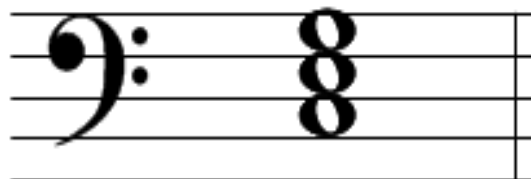
線の音： ミ ソ シ レ ファ ⇒ み そ し る、 / れ ん こん、ファ イ だよ

間の音： ファ ラ ド ミ ⇒ ファ イ い っぽ つ ら っき ょ で / ド ミ の

 ワンポイント 1

 ヘ音記号の楽譜（低音部譜表） … 形で覚えよう！

まず… 「ド ミ ソ」 の形で覚えましょう。



※この3つの音を覚えると伴奏に最低必要な音が覚えられます。

 ワンポイント 2

👉 ワンポイント 1

楽譜にしてみると
線の音



間の音



初心者が楽譜を読む時に、目的の音をよくドから順番にかぞえて読んでしまいます。

同じ数えるのであれば、この方法だと離れた音ほど数える手間が半分近くで済みます。

👉 ワンポイント2

へ音記号の音を読むのは苦手という人のために…

そこで、このテキストでは形で覚え、和音の1つ1つの音に対して上下の音を読むという方法を使います。

たとえば「ド」の下の音「シ」と上の音「レ」を、「ミ」はしとファ、「ソ」はファとラ、計7つの音を覚えることができます。

④ 指のウォーミングアップ

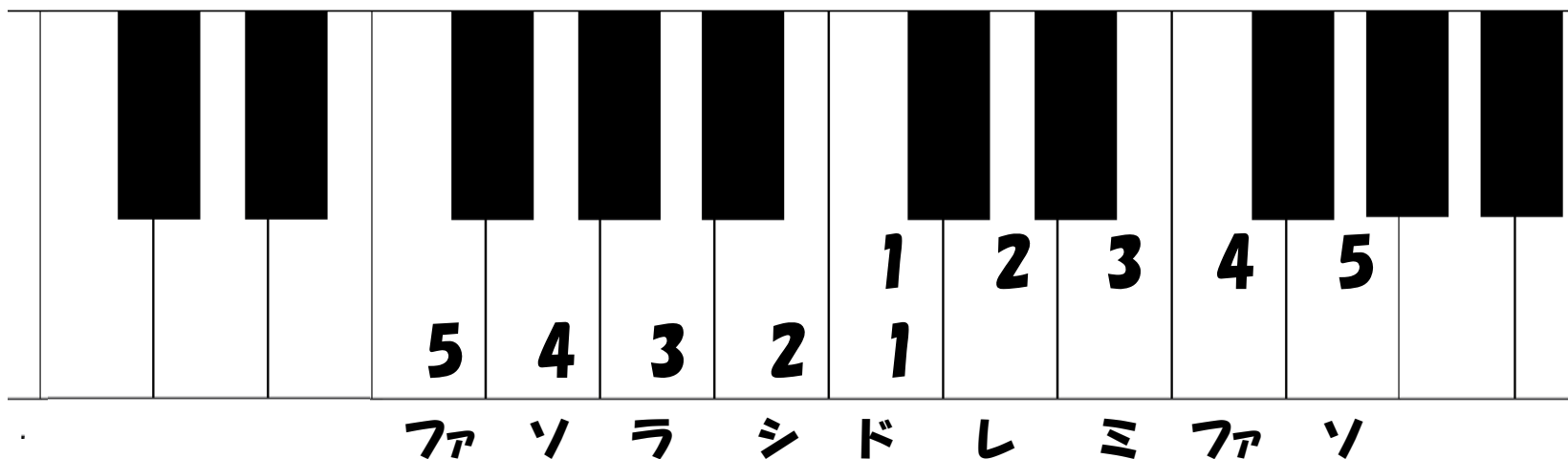
指番号順に弾いてみましょう。

1. 1 2 3 4 5

2. 1 2 3 4 / 5 4 3 2 / 1 2 3 2 / 1

3. 1 3 1 3 / 5 3 5 3 / 1 3 5 3 / 1

右手
左手



⑤ 音階を弾いてみよう ハ長調

/ の印まで弾いたら、1の指を3の指の下にくぐらせて、次の音を引いてください。

逆から弾く場合は / の印で、1の指の上から3の指かぶせて、次の音を弾いて下さい。

(右手) 1 2 3 / 1 2 3 4 5
 ド レ ミ . ファ ソ ラ シ ド

(左手) 5 4 3 2 1 / 3 2 1
 ド レ ミ ファ ソ . ラ シ ド

(両手) 1 2 3 / 1 2 3 4 5

右手
左手

1 5 4 3 2 1 3 2 1 1 2 3 1 2 3 4 5

ド レ ミ ファ ソ ラ シ ド レ ミ ファ ソ ラ シ ド

⑥ 色々な調の音階を弾いてみよう

※ ○で囲った数字は、# (シャープ)をつけて弾きましょう

ト長調 1 2 3 / 1 2 3 ④ 5
ソ ラ シ ド レ ミ ファ ソ

ニ長調 1 2 ③ / 1 2 3 ④ 5
レ ミ ファ ソ ラ シ ド レ

イ長調 1 2 ③ / 1 2 ③ ④ 5
ラ シ ド レ ミ ファ ソ ラ

ホ長調 1 ② ③ / 1 2 ③ ④ 5
ミ ファ ソ ラ シ ド レ ミ

音階を楽譜にしてみると……

※赤い音符は#をつけて弾いてください。(21 ページ参照)

ハ長調



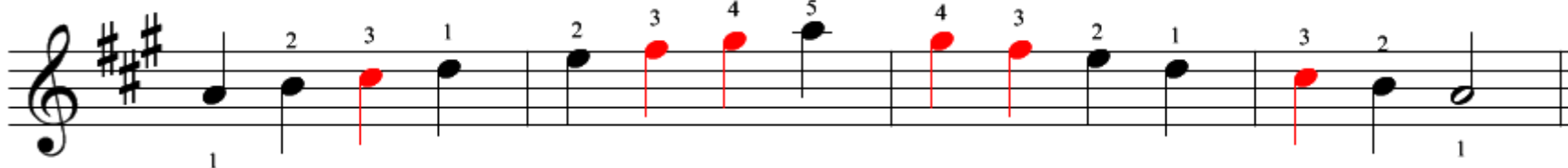
ト長調



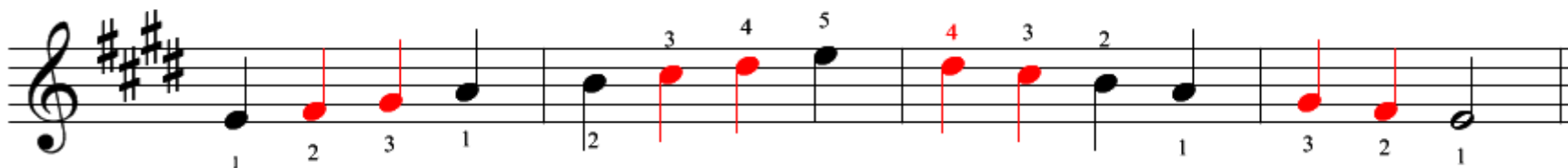
ニ長調



イ長調



ホ長調



調子記号 (調号)

ト音記号 (ヘ音記号にもあります。) の横に書かれている # や b を、**調子記号** (または調号) といいます。

例えば、 $F^{\#}$ の位置に # があれば、高さに関係なく $F^{\#}$ の音に # がつきます。

9 ページを見ていただくと、調によってそれぞれ # のつく数がちがいますが、増えていく順番が決まっています。

| | | | | | | | | |
|---|---|----------|---|---|---|---|---|---|
| # | → | $F^{\#}$ | ド | ソ | レ | ラ | ミ | シ |
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |

(調号の最後につく # を半音上げるとその調の主音になります)

(数字は、例えば # の場合… # 1 つの時は $F^{\#}$ だけ、2 つの時は $F^{\#}$ とドに # がつきます。)

(数字は、例えば b の場合… b 1 つの時はシだけ、2 つの時はシと $F^{\#}$ に # がつきます。)

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|----------|
| b | → | シ | ミ | ラ | レ | ソ | ド | $F^{\#}$ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|----------|

(調号の最後から2つめの b の音が主音になります)

臨時記号

調子記号(調号)と違い、**必要な時だけ**音符の左側に**変化記号** (21 ページ参照) をつけます。

変化記号のついている音符のみ有効です。

(但し、臨時記号は 変化記号のついている音符から後ろの同じ音符は小節内であればつきます)



赤の音符は # をつけます

緑の音符は # をつけません

⑦ 音符の長さ

 ⇒   






4分音符を
1拍とすると…

2分音符は
2拍

付点2分音符は
3拍

全音符は
4拍

休符の長さについて

 ⇒    

4分休符を
1拍とすると…

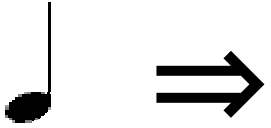
2分休符
2拍

全休符
4拍

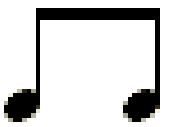
8分休符
4分休符の半分

16分休符
8分休符の半分

1拍分の色々な形のリズム…



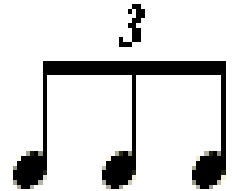
(タン)
4分音符1つで…



(タ タ)
8分音符は
2つ分



(タ タ タ タ)
16分音符は
4つ分



(タ タ タ)
3連符は
3つ分

その他

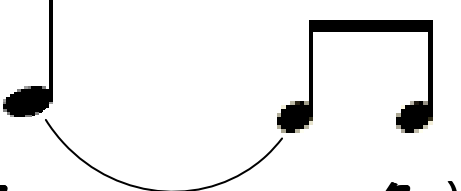


(タ - - タ)



(タ タ- - タ)

※上記のリズムを下記のように書くこともできます。



(タ - - タ)



(タ タ- - タ)

ワンポイント

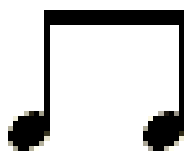
1拍以上の長さのリズムは分りやすいですが、1拍分の様々な形のリズムを

リズム読みするのは難しいです。そこで、言葉に置き換えて読むと分りやすくなります。

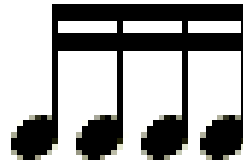
パン



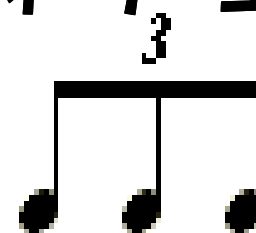
ゴ マ



マツタケ



イ チ ゴ



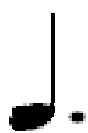
しーたけ



しっ ぽ



○



ぞ

○

ー



う

○



さん

○



ド

○



ロッ



フ

○



ス

リズム遊び…1

○ 印を一定の速さで手をたたきましょう。

それができたら、手をたたきながら言葉を言ってみましょう。

○ ○ ○ ○
① し-たけ し-たけ し-たけ し-たけ

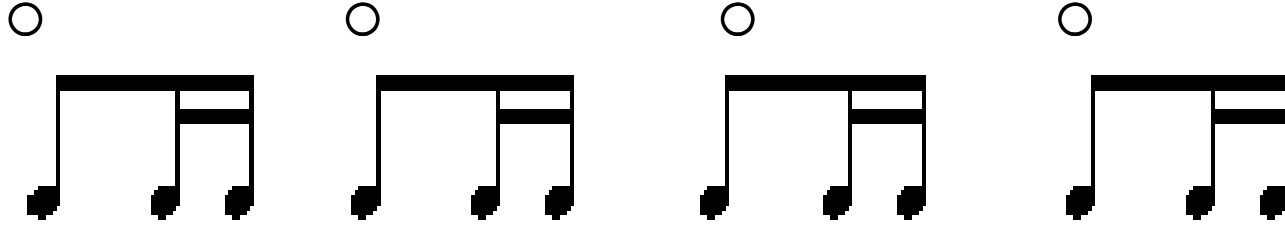
○ ○ ○ ○
② まつたけ まつたけ まつたけ まつたけ

○ ○ ○ ○
③ パン パン しいたけ まつたけ

○ ○ ○ ○
④ パッ カ パッ カ しいたけ まつたけ

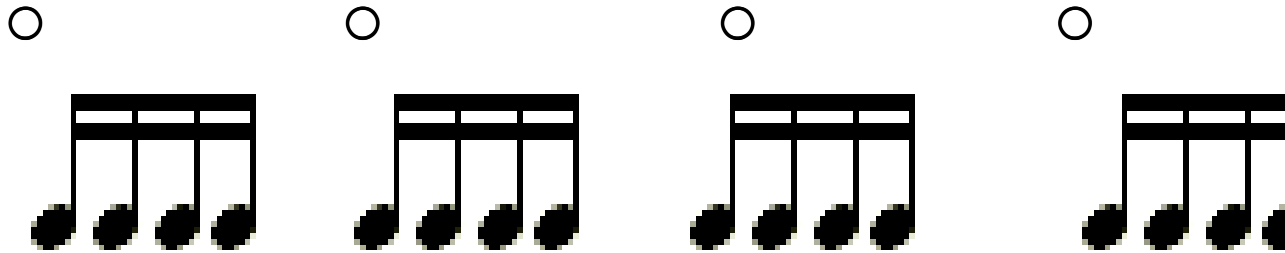
リズム遊び…2 (14 ページを音符に置き換えると…)

①



(し- た け)

②



(ま つ た け)

③



(パ ン)

④



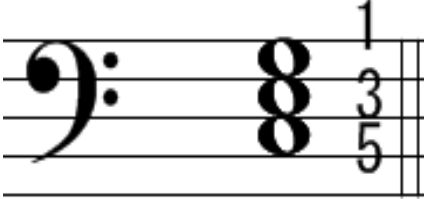
(パ ッ た)

⑧ 和音の形をマークで覚えよう

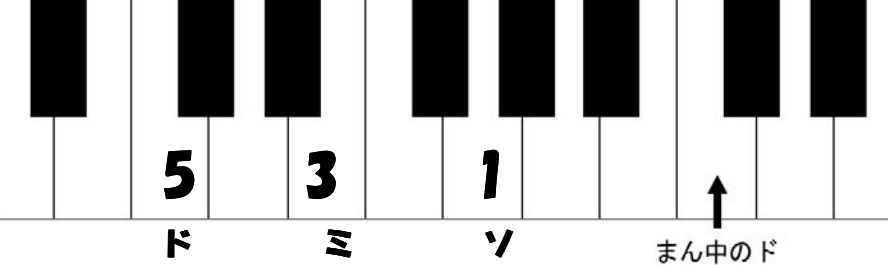
まず、♡・◇・☆のマークの和音を覚えてください。

※ 和音をマークで覚えると読譜のスピードがアップします。

♡

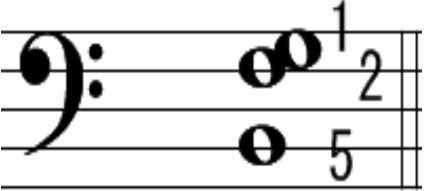


⇒

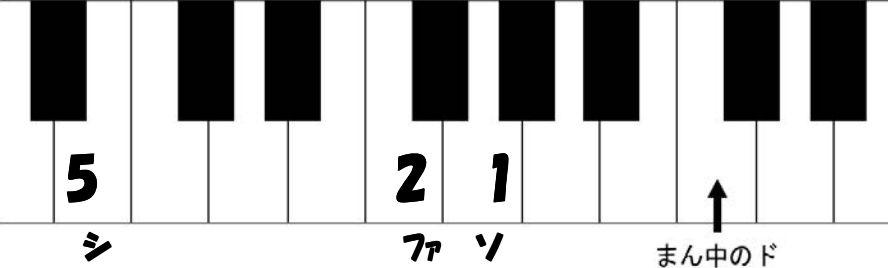


ド ミ ソ まん中のド

☆

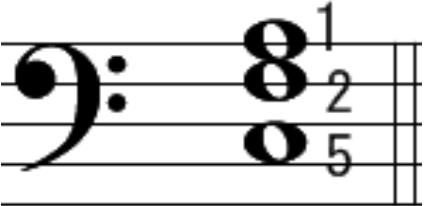


⇒

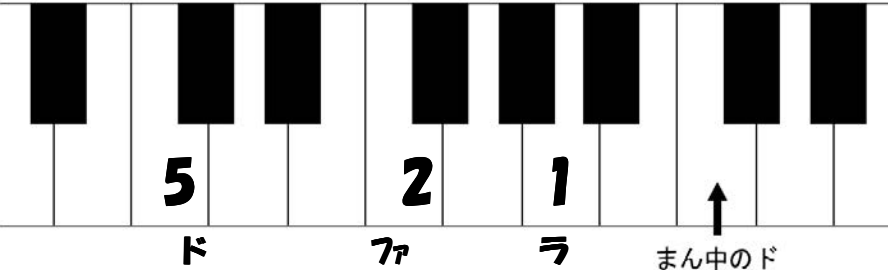


シ ファ ソ まん中のド

◇



⇒



ド ファ ラ まん中のド

👉 ワンポイント

和音を弾く時、できるだけ手の形が崩れないように弾くことが**ミスタッチを防ぐポイント**です。

手の形が崩れないようにするには…

手を軽く鍵盤の上に置くと、図のようになります。この手の形が

♡・◇・☆のマークの和音を弾く時の基本の形になります。

♡ は基本の形で弾けます。

☆ は基本の形から5の指を左へ1つずらすと弾けます。

◇ は基本の形から1の指を右へ1つずらすと弾けます。



基本の手の形

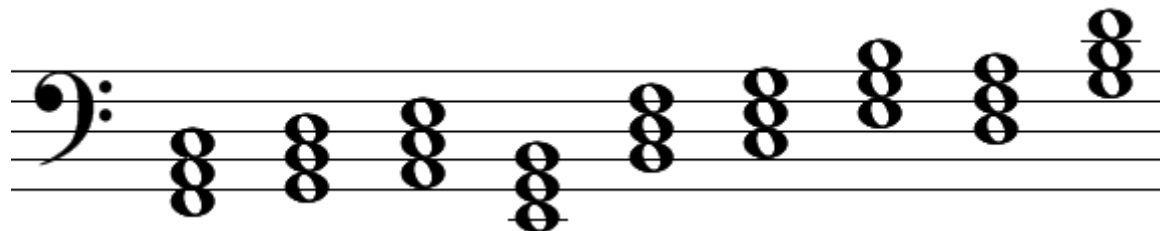
👉 ワンポイント

♡・◇・☆のマークは和音の種類を意味するものではありません。

長調・短調に関係なく、**和音を弾く時の手の形を種類わけ**しています。

例えば ♡ の形で弾けるのは、「ドミソ」以外に「ファラド」や「ラドミ」も同じように弾けます。他のマークも同じように当てはめられます。

♡ の形で弾ける和音の例 →



左手で和音を弾く前に！予備練習

指番号通りに弾いてみよう

♡の練習

5 5 3 3 / 1 1 3 3 / 5 5 5

ド ド ミ ミ ソ ソ ミ ミ ド ド ド

5 3 5 3 / 1 3 1 3 / 5 3 1 3 / 5

ド ミ ド ミ ソ ミ ソ ミ ド ミ ソ ミ ド

☆の練習

5 5 2 2 / 1 1 2 2 / 5 5 5

シ シ 7^{フレ} 7^{フレ} ソ ソ 7^{フレ} 7^{フレ} シ シ シ

5 2 5 2 / 1 2 1 2 / 5 2 1 2 / 5

シ 7^{フレ} シ 7^{フレ} ソ 7^{フレ} ソ 7^{フレ} シ 7^{フレ} ソ 7^{フレ} シ

◇の練習

5 5 2 2 / 1 1 2 2 / 5 5 5

ド ド 7^{フレ} 7^{フレ} ラ ラ 7^{フレ} 7^{フレ} ド ド ド

5 2 5 2 / 1 2 1 2 / 5 2 1 2 / 5

ド 7^{フレ} ド 7^{フレ} ラ 7^{フレ} ラ 7^{フレ} ド 7^{フレ} ラ 7^{フレ} ド

⑨ よく使う和音

バイエルの教本によく出てきますので覚えてください。




(ハートまがい)




(流れ星)




⑩ 半音・全音について

半音とは、音の幅の最小単位のことです。

全音は半音二つ分（半音＋半音）の関係をいいます。

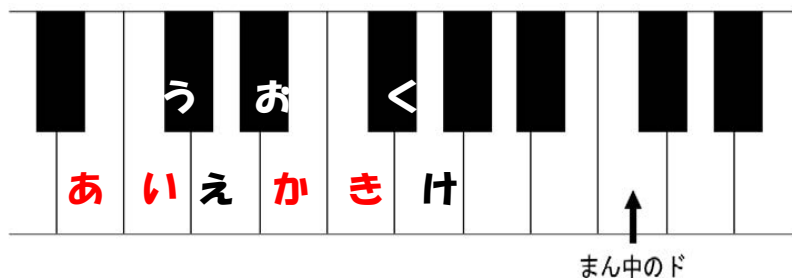
半音になる鍵盤…

ピアノの黒鍵と、その黒鍵に隣り合う白鍵の間は、半音です。

（いーう、えーお、きーく、うーえ、おーか、くーけ）

また、間に黒鍵を挟まない隣同士の白鍵の間も、半音です。

（あーい、かーき）



全音になる鍵盤… いーえ、えーか、きーけ

鍵盤同士が隣り合って見えますが、間に黒鍵を挟んでいます。

⑪ 変化記号について

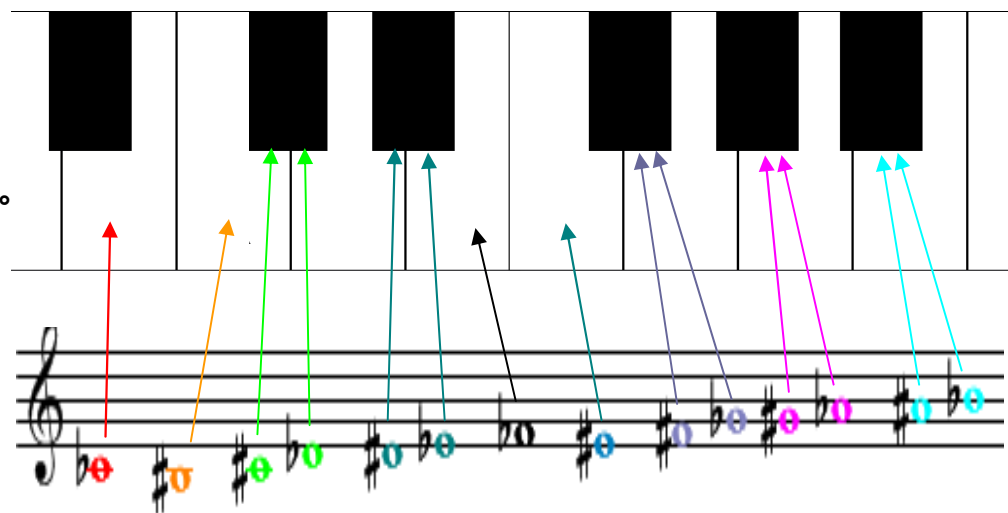
変化記号は音符(棒が上向きでも下向きでも)の**左側**につけます。

(シャープ) その音を半音上げる (# は**右隣**の鍵盤を弾く。)

b (フラット) その音を半音下げる(**b** は**左隣**の鍵盤を弾く。)

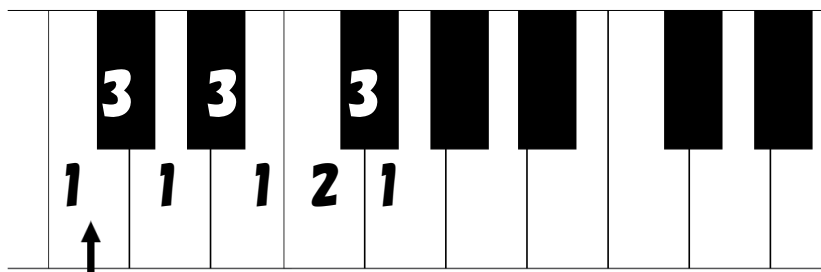
□ (ナチュラル) 音を元に戻す (# または **b** の付かない状態にする。)

※音符に # や **b** がつくと、ほとんど黒鍵をひくことになりませんが、場合によっては、白鍵を弾くこともあります。
右の楽譜を鍵盤で弾くと矢印の位置になります。



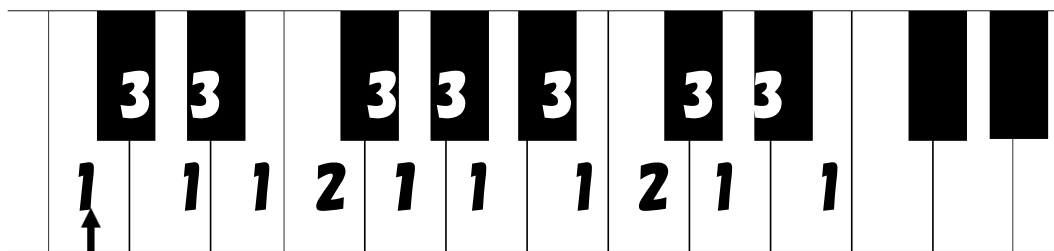
⑫ 右手で半音階を弾いてみよう

♪ 1 3 1 3 / 1 2 3



まん中のド

♪ 1 3 1 3 / 1 2 3 / 1 3 1 3 / 1 2



まん中のド

ワンポイント

鍵盤を見ると黒鍵はいつも3の指ですね。

黒鍵の無いところはいつも1と2の指です。

⑬ 拍子記号について

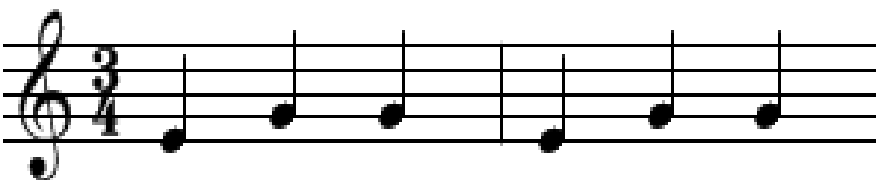
ト音記号やヘ音記号の右隣に分数の形で書かれている数字を**拍子記号**と言います。

3

← 4分音符が、1小節に3つ分入る(1小節に音符が入る**数**)

4

← 4分音符(1拍の基準になる**音符の名前**)

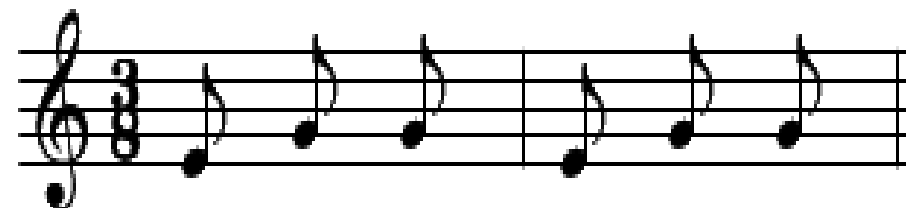
例 

3

← 8分音符が、1小節に3つ分入る(1小節に音符が入る**数**)

8

← 8分音符(1拍の基準になる**音符の名前**)

例 

⑭ 実際に弾いてみよう

左手の和音の種類を楽譜に記入してみよう。(16ページ参照)



ハ音記号の和音は下記の楽譜の様に変わって弾くこともできます



むすんでひらいて…1

左手の和音の種類を記入して弾いてみよう(16 ページ、20 ページ参照)

Fine

※1 小節ごとに同じ音が含まれている和音を探してマークを記入してみましょう。

D.C.

※ D.C.は曲の頭に戻りFineで終わる。

(ダ・カーボ) (フィーネ)

むすんでひらいて…2

左手が難しい場合、和音にしてもひけます。

The first system of musical notation consists of two staves. The upper staff is in treble clef with a 2/4 time signature, containing a melody of quarter and eighth notes. The lower staff is in bass clef, featuring a series of chords that provide harmonic support for the melody.

The second system of musical notation continues the piece. It features a repeat sign in the middle of the upper staff. The lower staff continues with chords. The word "Fine" is written below the second staff, indicating the end of the piece.

The third system of musical notation shows the final part of the piece. The upper staff has a fermata over the final note. The lower staff concludes with a final chord. The letters "D.C." are written at the bottom right of the system.

D.C.

バイエル 47 番(和音)…1

1.

The first system of the musical score is in 3/4 time. The treble clef staff contains a melody of quarter notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4. The bass clef staff contains a harmonic accompaniment of chords: G4-B3, A3-B3, B3-C4, C4-D4, B3-A3, G3-A3, G3. A first ending bracket spans the final two measures of the system.

2.

The second system of the musical score continues the melody and accompaniment. The treble clef staff contains a melody of quarter notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4. The bass clef staff contains a harmonic accompaniment of chords: G4-B3, A3-B3, B3-C4, C4-D4, B3-A3, G3-A3, G3. A second ending bracket spans the final two measures of the system.

Fine

D.C.

バイエル 47 番…2

※両手で弾けるようになったらタイをつけて弾いてみましょう

1.


The first system of the musical score is in 3/4 time. The right hand (treble clef) plays a melody of quarter notes: D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5, D5. The left hand (bass clef) plays a bass line of quarter notes: D3, E3, F3, G3, A3, B3, C4, D4. The first two measures are tied across the bar line. The third measure has a fermata over the D5 note. The fourth measure has a fermata over the D4 note. Fingering numbers 5 and 3 are shown under the first two notes of the left hand in the first measure, and 5 and 2 under the first two notes in the third measure.

※D.C.したら2 カッコにいき、Fine のところで終了。左手はドミソと弾かず、右と同じ付点2分音符のドで弾いてください。

2.

The second system of the musical score continues from the first. The right hand (treble clef) plays a melody of quarter notes: D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5, D5. The left hand (bass clef) plays a bass line of quarter notes: D3, E3, F3, G3, A3, B3, C4, D4. The first two measures are tied across the bar line. The third measure has a fermata over the D5 note. The fourth measure has a fermata over the D4 note. The fifth measure has a fermata over the D4 note. The sixth measure has a fermata over the D4 note. Fingering numbers 5 and 2 are shown under the first two notes of the left hand in the first measure. The word 'Fine' is written below the third measure, and 'D.C.' is written below the sixth measure.

バイエル 50 番…1

※ D.C.で戻った時、同じ印のところまで飛ぶ to 
※ ↓この小節は繰り返したら省く※



The first system of the musical score is in 3/4 time. The treble clef staff contains a melody of eighth notes, starting on G4 and moving up stepwise to D5. The bass clef staff contains a simple accompaniment of chords, primarily triads and dyads, with a consistent rhythmic pattern of quarter notes.



The second system of the musical score continues the melody and accompaniment. It features a first ending (1.) and a second ending (2.) leading to a Coda. The first ending consists of two measures of eighth notes, and the second ending consists of two measures of eighth notes. The Coda symbol is placed at the end of the second ending. The bass clef staff continues with the same accompaniment pattern.

D.C.

バイエル 50 番…2

※↓この小節は繰り返したら省く※

to \oplus

The first system of the musical score is written in 3/4 time. The treble clef staff contains a sequence of eighth notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4. The bass clef staff contains a sequence of quarter notes: G3, A3, B3, C4. The piece concludes with a double bar line and repeat dots. Fingerings are indicated as 5 and 3 for the first two notes in the bass staff, and 5 and 2 for the first two notes in the second measure of the bass staff.

※通常、D.Cしたら繰り返さず1回弾いて、Codaに飛びますが、この曲については、最初弾いたように繰り返しをして、Codaに飛びます。 ↑

The second system of the musical score begins with a double bar line. The treble clef staff starts with a quarter rest, followed by a sequence of eighth notes: G4, A4, B4, C5, B4, A4, G4, F4, E4, D4, C4. The bass clef staff contains a sequence of quarter notes: G3, A3, B3, C4. The piece concludes with a double bar line and repeat dots. The first measure is marked '1.' and the second measure is marked '2.'. The piece concludes with a double bar line and repeat dots, followed by the text 'D.C.' and a Coda symbol (\oplus) labeled 'Coda'.

バイエル 65 番…1

右手の指使い

1 3 1

1 3

3

3 1

1 3



左手の指使い

5

1 3

3 1

3

1 3

3 1



右手の指使い

3

1

3

1

1

3



左手の指使い

3

5

1

3

3

1



右手の指使い

2

1

3

1

1

3



左手の指使い

2

1

3

1

1

3



バイエル 65 番…2

The first system of the piece consists of two staves. The right-hand staff (treble clef) features a melodic line with a series of eighth-note runs, each marked with a fingering of '1'. The left-hand staff (bass clef) provides a harmonic accompaniment with quarter notes and eighth-note runs, including fingerings '5', '3', '4', and '1'.

The second system continues the piece. The right-hand staff has a melodic line with eighth-note runs, some marked with '3' and '1'. The left-hand staff features eighth-note runs with fingerings '3' and '1', and a final measure with a circled 'E' symbol.

The third system concludes the piece. The right-hand staff has eighth-note runs with fingerings '2', '1', and '3'. The left-hand staff has eighth-note runs with fingerings '2', '1', '3', '2', and '1', and a final measure with a circled 'E' symbol.